

企画セッション①

「環境毒性学の今昔～先輩研究者に聞く」

9月26日(木) 10:10～12:10 A会場(大山記念ホール)

概要と目的

日本環境毒性学会の設立当時から関わっておられた先輩研究者に、

1. 環境毒性学の今昔(共通点と相違点)
2. 現役の環境毒性学に関する研究者、学生に期待すること
3. 日本環境毒性学会に期待すること

について、15分程度でお話しいたします(質疑応答込みで20分)。現役の研究者や学生、ならびに学会に期待することをご自身のご経験も合わせてご提言いただくとともに、意見交換させていただき、日本環境毒性学会の目標である「化学物質等の生態系影響に関する研究の進歩と普及をはかる」の一助となればと思います。

プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 10:10～10:30 | 日本環境毒性学会の設立当時について～事務局サイドからふりかえる～
菅谷芳雄(国立環境研究所) |
| 10:30～10:50 | バイオアッセイ研究の今昔
～バイオアッセイの環境毒性評価適用への黎明期
西村哲治(帝京平成大学) |
| 10:50～11:10 | この50年をふり返って
菊地幹夫(元 神奈川工科大学) |
| 11:10～11:30 | 水産学から見た環境研究
小山次朗(元 鹿児島大学) |
| 11:30～11:50 | バイオアッセイの環境管理への適用を目指して
楠井隆史(元 富山県立大学) |
| 11:50～12:10 | バイオアッセイ防備録
有菌幸司(熊本県立大学) |